2021 衆院選の情勢

稲富と鬼木、横一線
鳩山が独走

福　岡

1区（自）
〈福岡市東、博多区〉
木村　拓史　35　共　新
坪田　　晋　37○立　新
山本　剛正　49○維　元
井上　貴博　59○自㊋前公
井上が安定した戦い。自公支持層の7割超を固める。坪田は立民支持層の8割を固め、一段の知名度向上に力を注ぐ。木村と山本は党勢拡大と比例票の上積みを狙う。

2区（自）
〈福岡市中央区、南区の一部など〉
新開　崇司　50○維　新
鬼木　　誠　49○自㊊前公
稲富　修二　51○立　前
稲富と鬼木が横一線。稲富は立民支持層の9割超を固め、自民支持層の切り崩しもはかる。鬼木は自民支持層の7割、公明支持層の5割をまとめた。新開は知名度向上をめざす。

3区（自）
〈福岡市早良、西区、糸島市など〉
古賀　　篤　49○自㊗前
山内　康一　48○立　前
古賀と山内が激しく争う。前回は4万票差で制した古賀は自民支持層の8割弱を固め、公明支持層にも浸透する。山内は立民支持層の9割弱を固め、与党批判票を取り込んで追う。

4区（自）
〈宗像市、古賀市、福津市、糟屋郡〉
竹内　信昭　68○社　新
宮内　秀樹　59○自㊁前公
森本慎太郎　43○立　新
阿部　弘樹　59○維　新
4選を目指す宮内が安定した戦い。自公支持層の7割を固めた。共産が擁立を見送ったが、野党統一候補の擁立には至らず、森本、阿部、竹内の3新人は自民に不満を持つ支持層を奪い合う。

5区（自）
〈筑紫野市、春日市、太宰府市など〉
堤　かなめ　61○立　新
原田　義昭　77　自㊋前
堤と原田が激しく争う。堤は立民支持層の9割弱を固めた。原田は自民支持層の6割、公明支持層の5割弱を固め、追う展開だ。

6区（自）
〈久留米市、大川市、小郡市など〉
鳩山　二郎　42○自㊁前公
河野　一弘　49　共　新
田辺　　徹　60○立　新
組坂　善昭　74　無　新
熊丸　英治　52　N　新
鳩山が独走。自公支持層の8割を固め、無党派層にも浸透を図る。田辺、河野、熊丸、組坂は政権批判票の取り込みを目指すが、知名度向上が課題。

7区（自）
〈大牟田市、柳川市、八女市など〉
藤丸　　敏　61○自㊊前公
青木　剛志　50○立　新
4選を目指す藤丸は、古賀誠元自民党幹事長の後援会組織を引き継ぎ、手堅い戦い。自公支持層の8割を固めた。野党統一候補の青木は政権批判票の受け皿として追い上げに懸命だ。

8区（自）
〈飯塚市、直方市、中間市など〉
河野　祥子　41　共　新
麻生　太郎　81　自㊋前
大島九州男　60○れ　新
14選を目指す麻生が盤石。経験、知名度で優位に立つ。自民支持層の8割を固め、他の候補を圧倒する。河野、大島の新人2人は政権批判票を取り込み、党勢拡大を狙う。

9区（自）
〈北九州市若松、八幡東区など〉
真島　省三　58○共　元
三原　朝彦　74　自㊍前公
緒方林太郎　48　無　元
緒方と三原が接戦。前回落選した緒方は立民支持層の7割を固め、幅広い層からの支持を狙う。三原は自公支持層の6割超を固めた。真島は共産支持層をまとめて党勢拡大をめざす。

10区（自）
〈北九州市門司、小倉北区など〉
城井　　崇　48○立　前
西田　主税　59○維　新
山本　幸三　73　自㊊前公
大西　啓雅　51　無　新
城井と山本が競る。城井は立民支持層の9割を固めた。前回、希望から出馬した城井は立民に移り、政権批判票の取り込みを狙う。山本は自民支持層の7割弱を固めた。西田は知名度の向上が課題。

11区（自）
〈行橋市、田川市、豊前市など〉
志岐　玲子　68○社　新
武田　良太　53○自㊁前公
村上　智信　52　無　新
前総務相の武田が独走。自民支持層の8割、公明支持層の6割を固めて盤石の戦い。村上と志岐の新人2人は追い上げに懸命だ。村上は知名度の向上に注力し、志岐は子育て支援を訴える。

佐　賀

原口と岩田が競る

1区（無）
〈佐賀市、鳥栖市、神埼市など〉
岩田　和親　48○自㊊前公
原口　一博　62○立　前
原口と岩田が競る。原口は立民支持層の9割を固め、自民支持層の切り崩しもはかる。岩田は自民支持層の7割をまとめた。無党派層の取り込みを急ぎ、追い上げをめざす。

2区（希）
〈唐津市、鹿島市、小城市など〉
大串　博志　56○立　前
古川　　康　63○自㊍前公
大串が後援会組織をまとめ手堅い戦い。立民支持層の9割超を固め、自民支持層も取り込む。農水産票の6割を固める。古川は自民支持層の7割を固め、知事時代の知名度をテコに追い上げる。

長　崎

西岡が優位

1区（希）
〈長崎市の旧市部〉
初村滝一郎　42○自　新公
西岡　秀子　57○国　前
安江　綾子　44　共　新
西岡が支持基盤を拡大し優位に立つ。立民支持層の8割弱を固め、与党支持層にも浸透をはかる。安倍晋三元首相の元政策秘書の初村は自民支持層の7割弱、公明支持層の6割を固め、追い上げる。

2区（自）
〈諫早市、島原市、雲仙市など〉
松平　浩一　47○立　前
加藤　竜祥　41○自　新公
優位に立つ加藤を松平が追い上げる。加藤は父の堅固な支持基盤を引き継ぎ、自公支持層の7割を固めた。松平は立民支持層の8割をまとめ、他の野党支持層も開拓する。

3区（自）
〈大村市、五島市、対馬市など〉
山田　博司　51　無　新
谷川　弥一　80　自㊅前公
山田　勝彦　42○立　新
石本　啓之　52　諸　新
立民の山田と谷川が競る。立民新人の山田は立民支持層の8割を固め、維新や公明の支持層も取り込む。谷川は自民支持層を6割固めた。無所属の山田は追い上げに懸命。

4区（自）
〈佐世保市北部、平戸市、松浦市など〉
末次　精一　58○立　新
北村　誠吾　74　自㊊前公
萩原　　活　61　無　新
田中　隆治　78　無　新
優位に立つ野党統一候補の末次と北村が激戦。末次は立民支持層の9割を固めた。北村は自公支持層の5割を固め追う展開。萩原と田中は独自の戦い。

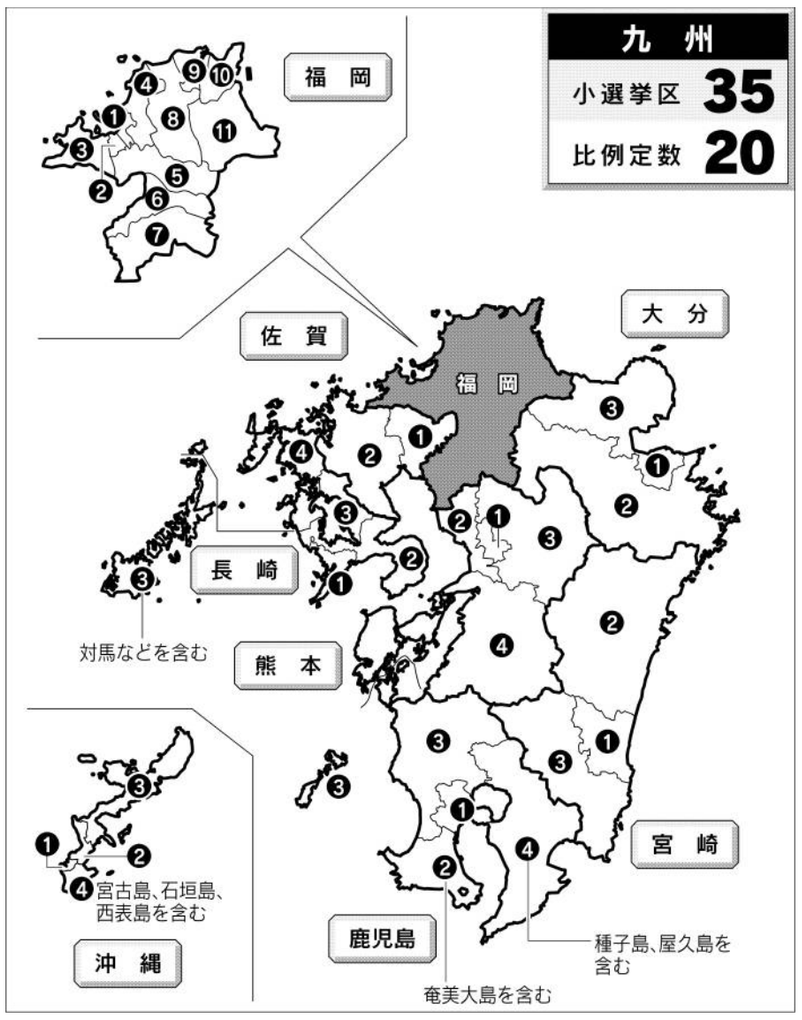
比例　定数20

立民、6議席の見通し

自民は8議席をうかがい前回の7議席を上回りそうだ。立民は6議席を確保する見通しだ。旧立民の前回は3議席だった。公明は4議席を狙う。共産、維新はそれぞれ1議席を固めた。

【自　民】①今村雅弘74前②保岡宏武48新③井上貴博59※前③鬼木誠49※前③古賀篤49※前③宮内秀樹59※前③鳩山二郎42※前③藤丸敏61※前③武田良太53※前③岩田和親48※前③古川康63※前③初村滝一郎42※新③加藤竜祥41※新③木原稔52※前③坂本哲志70※前③金子恭之60※前③高橋舞子33※新③岩屋毅64※前③武井俊輔46※前③江藤拓61※前③古川禎久56※前③宮路拓馬41※前③小里泰弘63※前③国場幸之助48※前③宮崎政久56※前③島尻安伊子56※新③西銘恒三郎67※前㉘河野正美60元㉙新義明68新㉚田畑隆治62新
【立　民】①坪田晋37※新①稲富修二51※前①山内康一48※前①森本慎太郎43※新①堤かなめ61※新①田辺徹60※新①青木剛志50※新①城井崇48※前①原口一博62※前①大串博志56※前①松平浩一47※前①山田勝彦42※新①末次精一58※新①浜田大造51※新①矢上雅義61※前①吉川元55※前①横光克彦77※前①渡辺創44※新①川内博史59※前①野間健63※元①屋良朝博59※前①金城徹68※新㉓出口慎太郎39新㉔大川富洋39新㉕川西義人48新
【公　明】①浜地雅一51前②吉田宣弘53前③金城泰邦52新④吉田久美子58新⑤窪田哲也55新⑥中山英一45新
【共　産】①赤嶺政賢73※前②田村貴昭60前③真島省三58※元④松崎真琴63※新
【維　新】①山本剛正49※元①新開崇司50※新①阿部弘樹59※新①西田主税59※新①外山斎45※新①山川泰博51※新
【国　民】①長友慎治44※新①西岡秀子57※前③前野真実子37新
【れいわ】①大島九州男60※新
【社　民】①竹内信昭68※新①志岐玲子68※新①馬場功世70※新①米永淳子58※新①新垣邦男65※新
【N　党】①斉藤健一郎40新

九　州



熊　本

西野が先行

1区（自）
〈熊本市中央、東、北区〉
浜田　大造　51○立　新
木原　　稔　52○自㊍前
木原がリード。自民支持層の8割超を固めた。浜田は立民支持層の8割を固め、都市部の無党派層に格差是正を訴えて追う。

2区（自）
〈熊本市西、南区、玉名市など〉
野田　　毅　80　自㊀前公
西野　太亮　43　無　新
橋田　芳昭　66　共　新
西野が幅広い支持を得て先行、与党支持層にも浸透する。野田は自民支持層の5割弱しかまとめられていない。橋田は政権批判票の取り込みを狙う。

3区（自）
〈山鹿市、菊池市、阿蘇市など〉
本間　明子　40　N　新
坂本　哲志　70○自㊀前公
馬場　功世　70○社　新
坂本が幅広い支持基盤に支えられた組織力で先行。自民支持層の8割、公明支持層の8割を固めた。馬場は立民支持層の7割を固めた。知名度向上をめざして一段の浸透をはかる。

4区（自）
〈八代市、天草市、宇城市など〉
金子　恭之　60○自㊊前公
矢上　雅義　61○立　前
総務相に就任した金子が高い知名度で先行。自民支持層の8割を固め、幅広い年齢層に浸透する。前回比例復活の矢上は立民支持層の8割をまとめて追い上げをはかる。

大　分

吉川と衛藤、競り合う

1区（自）
〈大分市の旧市部〉
西宮　重貴　43　無　新
野中　美咲　25　N　新
山下　　魁　44　共　新
高橋　舞子　33○自　新
吉良　州司　63　無　前
吉良が先行、立民支持層の7割弱を固めて与党支持層にも食い込む。高橋は自民支持層の6割超をまとめた。山下は党勢拡大に躍起。

2区（自）
〈佐伯市、日田市、津久見市など〉
衛藤征士郎　80　自㊇前公
吉川　　元　55○立　前
社民から立民に移った吉川が、13選を狙う衛藤と競り合う。吉川は立民支持層の9割を固めた。衛藤は自民支持層の8割を固め、激しく追い上げる。

3区（自）
〈別府市、中津市、宇佐市など〉
横光　克彦　77○立　前
岩屋　　毅　64○自㊋前公
岩屋と横光が激しく争う。岩屋は自民支持層の8割超を固め、野党支持層の取り込みもはかる。横光は立民支持層の9割超をまとめた。政権への批判票の獲得に懸命。

宮　崎

古川が盤石

1区（自）
〈宮崎市、東諸県郡〉
武井　俊輔　46○自㊊前公
脇谷　典子　64　無　新
渡辺　　創　44○立　新
外山　　斎　45○維　新
渡辺と武井が激突。渡辺は立民支持層の8割を固めた。武井は自民支持層の5割弱をまとめ、さらに支持拡大をはかる。脇谷、外山は独自の戦い。

2区（自）
〈延岡市、日向市、西都市など〉
江藤　　拓　61○自　前公
長友　慎治　44○国　新
江藤が高い知名度を生かしてリード。自民支持層の8割を固めた。長友は立民支持層の7割をまとめ、政権批判票を取り込んで追い上げる。

3区（自）
〈都城市、日南市、小林市など〉
松本　　隆　60　共　新
古川　禎久　56○自㊍前公
重黒木優平　34　N　新
古川が盤石。自民支持層の9割超を固め、立民や維新の各支持層にも浸透する。松本は野党共闘を通じた与党批判票の糾合を目指し、支持拡大に期待する。

鹿児島

三反園と金子が拮抗

1区（立）
〈鹿児島市北部、鹿児島郡〉
川内　博史　59○立　前㊅
宮路　拓馬　41○自㊀前公
川内と宮路が一騎打ち。前回辛勝の川内は立民支持層の9割を固めた。宮路は自民支持層の7割超、公明支持層の6割を固めた。野党支持層の切り崩しもはかって追い上げる。

2区（自）
〈鹿児島市南部、指宿市、奄美市など〉
松崎　真琴　63○共　新
金子万寿夫　74　自㊀前公
三反園　訓　63　無　新
三反園と金子が横一線。三反園は知名度を強みに立民支持層の4割を固め、自民支持層の切り崩しもはかる。金子は自民支持層の5割を固めた。松崎は党勢拡大に躍起。

3区（自）
〈薩摩川内市、出水市、日置市など〉
小里　泰弘　63○自　前公
野間　　健　63○立　元
野間と小里が競い合う。野間は立民支持層の9割をまとめた。与党の支持層の切り崩しもめざす。小里は自民支持層の7割超を固め、激しく追う。

4区（自）
〈霧島市、鹿屋市、志布志市など〉
米永　淳子　58○社　新
宮川　直輝　48　N　新
森山　　裕　76　自㊀前公
強固な地盤を持つ森山が安定した戦い。自民支持層の9割弱、農林水産票の7割弱を固める。米永は立民支持層の7割をまとめた。さらに知名度の向上をめざす。

沖　縄

赤嶺が優勢

1区（共）
〈那覇市、久米島町など〉
赤嶺　政賢　73○共　前
国場幸之助　48○自㊊前公
下地　幹郎　60　無　前
赤嶺が支持基盤を拡大し優勢。共産支持層の9割超、立民支持層の8割を固めた。国場は自民支持層の6割超を固め、保守層の支持拡大をめざす。下地は保守層への切り込みを狙う。

2区（社）
〈宜野湾市、浦添市、中頭郡〉
宮崎　政久　56○自㊍前公
中村　幸也　41　N　新
新垣　邦男　65○社　新
山川　泰博　51○維　新
新垣がリード。立民支持層の9割弱、社民支持層の9割超を固めた。宮崎は自民支持層の8割をまとめ、企業関係者を回り巻き返しをかける。山川は知名度の向上が課題。

3区（無）
〈名護市、沖縄市、うるま市など〉
屋良　朝博　59○立　前
島尻安伊子　56○自　新公
屋良がリード。米軍普天間基地の移設先とする名護市を抱える選挙区で、移設反対を掲げる反自民層に幅広く浸透。立民支持層の9割超を固めた。島尻は経済対策を強調して追い上げる。

4区（自）
〈糸満市、石垣市、宮古島市など〉
西銘恒三郎　67○自㊍前公
金城　　徹　68○立　新
金城と西銘が競り合う。金城は立民支持層の9割を固め、与党批判票の受け皿をめざす。沖縄・北方担当を兼務する復興相の西銘が自民支持層の9割を固めて追い上げる。

四　国
仁木、幅広い支持

徳　島

1区（自）
〈徳島市、阿南市、小松島市など〉
仁木　博文　55　無　元
後藤田正純　52○自㊋前
吉田　知代　46○維　新
佐藤　行俊　73　無　新
仁木が幅広い支持を得て先行、自民支持層も切り崩している。後藤田は知名度は抜群だが、自民支持層の5割しか固められていない。県政を巡って対立する自民県連は自主投票を決めた。

2区（自）
〈鳴門市、板野郡など〉
中野真由美　50○立　新
久保　孝之　58　共　新
山口　俊一　71○自㊋前公
元科学技術相で11選を目指す山口がリード。自民支持層の8割を固め、主婦層にも浸透する。立民と共産は候補者を一本化できず、中野と久保が政権批判票を奪い合っている。

香　川

小川と平井、激しく争う
玉木、優位な戦い

1区（自）
〈高松市の旧市部、小豆郡など〉
小川　淳也　50○立　前
町川　順子　62○維　新
平井　卓也　63○自㊊前公
小川と平井が激しく争う。小川は野党支持層の8割弱を固め、与党支持層への浸透を目指している。平井は自民支持層、公明支持層の6割超をそれぞれ固めた。町川は党勢拡大を図る。

2区（希）
〈坂出市、さぬき市など〉
玉木雄一郎　52○国　前
瀬戸　隆一　56○自　元公
強固な地盤を持つ玉木が優位に戦いを進めている。野党支持層の8割超を固め、自民党支持層からも一定の支持を集める。瀬戸は自民支持層の7割を固め、追い上げに懸命だ。

3区（自）
〈丸亀市の旧市部など〉
大野敬太郎　53○自　前公
尾崎淳一郎　70　共　新
大野が支持基盤を拡大し、優位に立つ。自民支持層の9割弱を固め、公明支持層にも浸透する。新人の尾崎は政権批判票を狙うが、野党支持層の4割ほどしか固められていない。

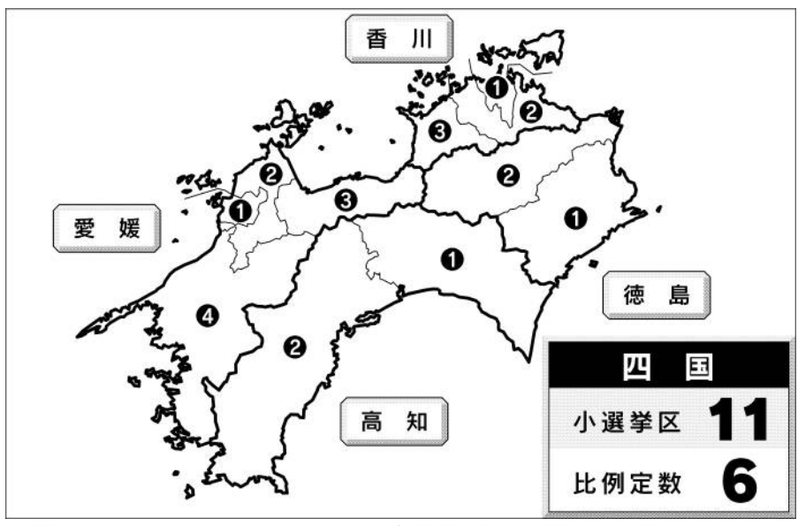
愛　媛

塩崎がリード

1区（自）
〈松山市の一部〉
友近　聡朗　46○立　新
塩崎　彰久　45○自　新公
塩崎がリード。自民支持層の8割超、公明支持層の7割を固めた。無党派層の取り込みにも力を入れる。友近は基盤となる立民や共産、社民の支持層の開拓に注力する。

2区（自）
〈今治市、東温市、伊予郡など〉
石井　智恵　53○国　新
片岡　　朗　62　共　新
村上誠一郎　69○自　前公
村上が安定した戦い。自民支持層を8割、公明支持層を7割固めた。石井は知名度を高め、他の野党支持層へも浸透を図る。片岡は与党批判票の取り込みを目指す。

3区（希）
〈新居浜市、西条市、四国中央市〉
白石　洋一　58○立　前
井原　　巧　57○自　新公
井原と白石が激しく争う。井原は自民支持層の7割超、公明支持層の6割を固めた。白石は立民など野党の支持層に加え、保守層の一部にも食い込みを図って追い上げをめざす。



4区（自）
〈宇和島市、八幡浜市など〉
長谷川淳二　53○自　新公
西井　直人　64　共　新
桜内　文城　56　無　元
前田　龍夫　67　無　新
藤島　利久　59　無　新
長谷川がリード。自民支持層の7割、公明支持層の6割を固め、無党派層にも浸透を図る。桜内は経済政策などを訴え、与党批判票の取り込みに懸命。西井と前田は巻き返しをかける。

高　知

中谷、安定した戦い

1区（自）
〈高知市北部、室戸市、南国市など〉
武内　則男　63○立　前
中島　康治　42○N　新
川田　永二　86　無　新
中谷　　元　64○自　前公
中谷は実績と知名度で安定した戦い。自民支持層の9割、公明支持層の8割を固めた。武内は立民支持層の7割をまとめ、追い上げに懸命。中島と川田は独自の戦い。

2区（無）
〈高知市南部、土佐市、須崎市など〉
尾崎　正直　54○自　新公
広田晋一郎　52　N　新
広田　　一　53○立　前
初当選を目指す尾崎は知事を3期12年務めた知名度で優位に立つ。自民支持層の9割弱、公明支持層の9割超を固めた。立民の広田は立民支持層の9割弱をまとめ、追い上げに懸命だ。

比例　定数6

自民、3議席うかがう

自民は前回と同様の3議席を獲得する可能性が高い。立民は2議席を確保する見通しだ。残り1議席を公明が手堅く固めた。

【自　民】①山本有二69前②後藤田正純52※前②山口俊一71※前②平井卓也63※前②瀬戸隆一56※元②大野敬太郎53※前②塩崎彰久45※新②村上誠一郎69※前②井原巧57※新②長谷川淳二53※新②中谷元64※前②尾崎正直54※新⑬福山守68前⑭福井照67前⑮二川弘康47新⑯井桜康司65新
【立　民】①中野真由美50※新①小川淳也50※前①友近聡朗46※新①白石洋一58※前①武内則男63※前①広田一53※前⑦長山雅一33新⑧小山田経子43新
【公　明】①山崎正恭50新②坂本道応42新
【共　産】①白川容子55新②中根耕作40新
【維　新】①吉田知代46※新①町川順子62※新③佐藤暁60新
【国　民】①石井智恵53※新①玉木雄一郎52※前
【れいわ】①小泉敦39新
【社　民】①三野ハル子76新
【N　党】①中島康治42※新